

1号機R/B外壁 IC配管撤去後の 線量・汚染確認結果について

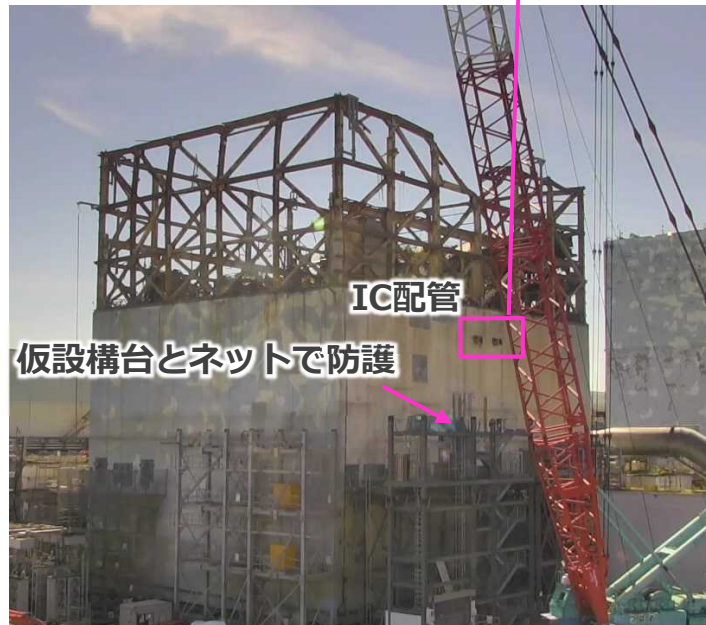
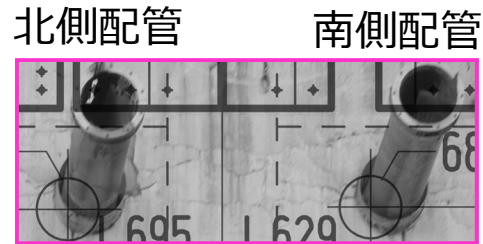
2022年10月19日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

IC配管の撤去概要

- 1号大型カバー設置工事に伴い実施するアンカー削孔作業と干渉する原子炉建屋外壁の非常用復水器 2 次側配管（以下、IC配管）を9月28日から29日にかけて撤去した。



現場状況（北西面）
(撮影：2022年9月14日)
(撤去前)



現場状況（西面）
(撮影：2022年9月29日)
(撤去後)

IC配管撤去作業中の様子



現場状況（北側IC配管吊降ろし）
(撮影：2022年9月29日)



現場状況（南側IC配管切断）
(撮影：2022年9月29日)

IC配管切断後の状況



撤去後 IC配管



撤去後 さや配管



養生後 IC配管



養生後 さや配管

IC配管の線量・汚染確認結果



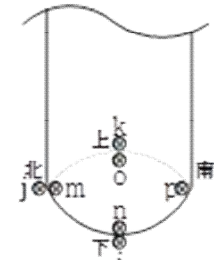
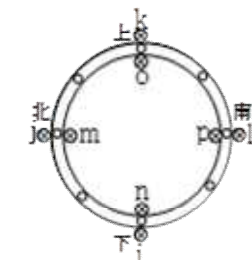
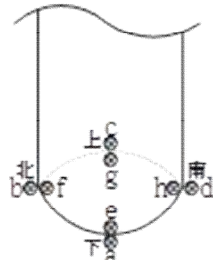
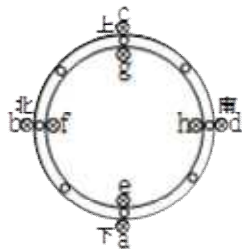
■ 9月29日, IC配管及びさや管を撤去後, 線量・汚染の確認を行った。

(北側インコン配管正面図)

(北側インコン配管上面図)

(南側インコン配管正面図)

(南側インコン配管上面図)

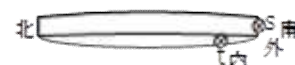
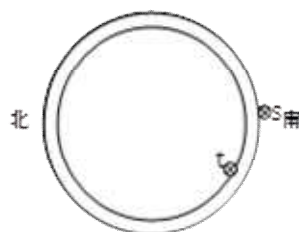
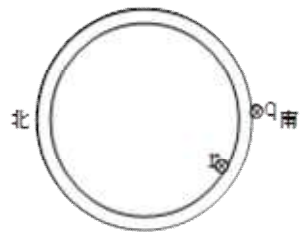


(北側サヤ管正面図)

(北側サヤ管上面図)

(南側サヤ管正面図)

(南側サヤ管上面図)



No	Gross(cpm)	Net(cpm)	Bq/cm ²	採取ポイント
a	2500	2200	3.04E+01	北側インコン配管外側(底部)
b	2000	1700	2.35E+01	北側インコン配管外側(北面)
c	10000	9700	1.34E+02	北側インコン配管外側(上部)
d	4000	3700	5.11E+01	北側インコン配管外側(南面)
e	34000	33700	4.65E+02	北側インコン配管内側(底部)
f	4500	4200	5.80E+01	北側インコン配管内側(北面)
g	2000	1700	2.35E+01	北側インコン配管内側(上部)
h	5000	4700	6.49E+01	北側インコン配管内側(南面)
i	3000	2700	3.73E+01	南側インコン配管外側(底部)
j	2500	2200	3.04E+01	南側インコン配管外側(北面)
k	50000	49700	6.86E+02	南側インコン配管外側(上部)
l	3000	2700	3.73E+01	南側インコン配管外側(南面)
m	55000	54700	7.55E+02	南側インコン配管内側(底部)
n	50000	49700	6.86E+02	南側インコン配管内側(北面)
o	17000	16700	2.30E+02	南側インコン配管内側(上部)
p	40000	39700	5.48E+02	南側インコン配管内側(南面)
q	6000	5700	7.87E+01	北側サヤ管外側
r	12000	11700	1.61E+02	北側サヤ管内側
s	45000	44700	6.17E+02	南側サヤ管外側
t	4500	4200	5.80E+01	南側サヤ管内側
Max	55000	54700	7.55E+02	最大値
Mean	8884	8584	1.18E+02	幾何平均値

BG:0.10(mSv/h)		
測定ポイント	線量当量率測定結果	
	γ 値	β+γ 値
⊗ a	0.21	0.90
⊗ b	0.10	1.0
⊗ c	0.15	3.0
⊗ d	0.11	0.70
⊗ e	0.35	2.5
⊗ f	0.12	0.45
⊗ g	0.11	0.50
⊗ h	0.14	1.5
北側インコン配管最大値	0.35	3.0
北側インコン配管幾何平均値	0.15	1.06
⊗ i	0.30	1.5
⊗ j	0.15	0.90
⊗ k	0.20	2.5
⊗ l	0.15	1.2
⊗ n	0.85	4.5
⊗ m	0.30	1.2
⊗ o	0.18	2.0
⊗ p	0.30	4.0
南側インコン配管最大値	0.85	4.5
南側インコン配管幾何平均値	0.26	1.91

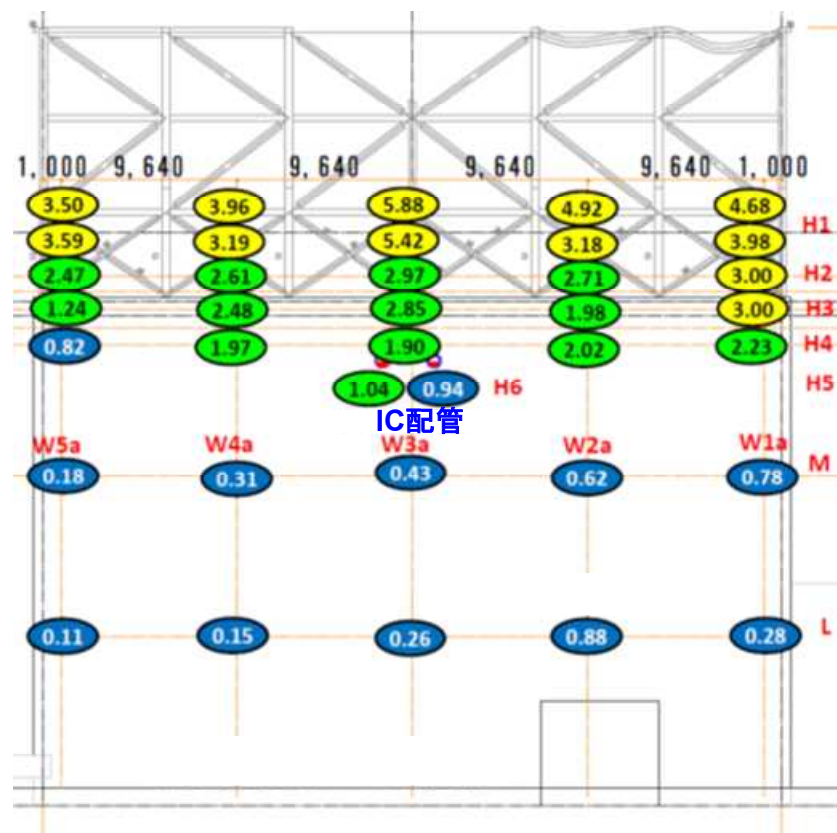
測定ポイント	線量当量率測定結果	
	γ 値	β+γ 値
⊗ q	0.15	3.5
⊗ r	0.25	9.0
⊗ s	0.20	3.0
⊗ t	0.45	7.0
サヤ管最大値	0.45	9.0
サヤ管幾何平均値	0.24	5.1

※α核種は確認されなかった

- 前ページで線量・汚染を確認した箇所について、スミア試料を採取しており、今後、以下の項目について、分析を行う予定。
 - γ 核種分析 (Cs-134、Cs137、Co-60等)
 - β 核種分析 (Sr-90)
 - 全 β 放射能
 - 全 α 放射能

(参考) R/B西面外壁 雰囲気線量

- IC配管近傍の雰囲気線量率は周辺の値と比較して特段高い値ではなく、事故時に放射性物質の放出経路となったとは考えにくい。



R/B西面外壁 雰囲気線量 (mSv/h)
(2021年7月, 8月測定 外壁から2 m外位置)